【授業科目】基礎看護学演習Ⅰ（看護の特質に関する文献検討）　Advanced Seminar of Fundamentals of Nursing I

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
草野 純子、久留島 実姫	１年次 前　期	選　択	２	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	看護の本質や倫理、看護ケア・実践等に関する文献の講読および実践事例の検討を通して理解を深め、実践への適用を議論するとともに　看護の本質、看護の実践等に関する研究の課題や方法について考える。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／講義の中において口頭でコメントする。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③，④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	1. 看護の本質･倫理等に関する理論・知識を関連文献から理解を深め、看護の実践への適用を考えることができる。 2. 看護の実践活動に必要な看護ケアに関する研究文献を読み理解を深めるとともに、実践への適用を考えることができる。 3. 1・2 に関する文献検討を通して研究の課題を見出すとともに研究方法の基礎について説明することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	1～15 回　提示された課題及び関心のある課題に関連した文献検索を行い、授業に参加する。（各 90 分） 16～25 回　抄読する文献を事前に読む。（各 90 分） 授業で配布された資料は、事前に読み、授業での積極的な討議にいかし、内容の理解を深める。（各 60 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1～5 回 看護の本質･倫理・ケア等に関する研究文献を選択し、文献のクリティークを行い、文献の読み方、研究の課題や方法について考える。 6～15 回 看護ケア、看護実践に関する研究論文を選択し、抄読会を行う。各自が興味関心のある文献をまとめ紹介するとともに、実践への適用を提言する。また文献から研究課題と研究方法を学ぶ。 16～25 回 上記とは別の文献を選択し、前回と同様な抄読会を行い、研究の課題や方法について理解を広げる。 26～30 回 ディスカッション、まとめ 全て 草野 久留島
評価方法 評価基準	演習課題に対する取り組み、意見発表の内容・方法により総合的に評価する。
教科書	使用しない。　　参考書等　適宜紹介する。